

第1回守山駅東口再整備基本計画策定委員会 摘録

日時：令和5年12月15日（金）午前10時30分から午後12時20分

場所：市役所 新庁舎2階 防災会議室

10：30

【市長挨拶】

第2回東口策定委員会に、大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日、市民の皆様からのご意見やご提案、ご意向等をアンケートやワークショップで伺った結果や、交通事業者ヒアリングの結果をご報告させていただきますと共に、東口をどうしていきたいかという将来像やあり方といったものを自由にご議論いただきたいと思っております。東口はご覧の通り、エリアや形も含め色々な制約があるところではございますが、整備にあたっては、制約や条件を踏まえて決定していかなければいけません。本日はこれがあったら良い、これがあったら東口の賑わいに良いのではないかといったアイデアを出していただいたうえで、次回に向けて再整備計画を進めていく大切な会だと思っておりますので、皆様ご意見、ご提案をよろしくお願いいたします。

10：40

【出席者紹介】

オンライン参加 2名

代理出席 1名

欠席 2名(委員1名 オブザーバー1名)

10：50

協議内容1 守山駅東口再整備基本計画策定委員会の進め方について

【主な意見】

※意見なし

協議内容 2 市民等からの意見聴取の実施結果について

【主な意見】

①アンケート調査について

○世代によってニーズが違うという印象である。特に、駐車場を拡張してほしいという意見の部分が全体としてみると多いが、20代未満や20代の方は少なく、これからのまちづくりを考えていくうえで、将来を見据えて若い世代がどういうライフスタイルになっていくかを見極めていく必要がある。今の課題はアンケートで分かるが、計画を見たうえでアンケートをするとまた違う意見も出てくると思う。計画に対するご意見を引き続き調査していく必要があると思う。

○全国の商店街で駐車場が足りないといって駐車場を整備した結果、結局お客さんが来なかったという話がある。守山駅周辺の駐車場は1年を通じて満車になるのは夏祭りの日くらいで、今年のイナズマロックフェスの時も普段より少なかったため、現状の民間整備のもので足りているという認識である。情報共有になるが、守山駅周辺の駐輪場の値段は高い方であり、東口には公共駐輪場があるが、西口には民間駐輪場しかない状況である。守山駅周辺の一等地に駐輪場ばかりがあることが私自身問題に感じており、カフェ等があったらいいなという場所が駐輪場となっている状況である。

②守山駅東口のまちづくりに関するワークショップの実施結果について

○ワークショップは、守山駅の東側にある自治会の方にご参加いただいたので、「賑わいはいい」、「渋滞されたら困る」、「都賀山荘のようなコミュニティ活動の拠点になるような場所があれば一番良い」という意見が多かった。一方で、村田製作所が来ることをきっかけに利便性の高いものも必要であるという意見もあった。また、自分たちの住み心地を守りながら、面白い街になることを期待しているという意見もあった。駅前のマンションに住まれている方だけでなく、駅まで車や自転車に来る方もいるので、様々なニーズがあるということを踏まえていくことが重要である。ただ、ワークショップでも現状のことを聞いただけで、計画が見えてきた、選択肢が見えてきたという中で、改めて意見を聞くと違う意見が出て来ると思うので、プロセスは丁寧に踏んでいければと思う。

○情報共有であるが、イナズマロックフェスの際にシャトルバスの乗り場が守山駅の東口になり、かなりの人が守山に来たことで、東口周辺のマンションの一部からクレームがあった。一方で、西口のマンションからはクレームが一件もなかった。今まで西口でイベントを行ってきており、比較的西口の市民は慣れているという印象をもっている。今回、バスが待機していることに対してクレームが多くあり、東口で賑わいを創出するのが怖いという印象がある。

○東と西が両方あっての守山駅なので、役割分担をしたらいいと思う。静かで暮らしやすいという

のも守山の特徴でもあるが、「静か」と「賑わい」は相反するものではない。ちょっとしたカフェがあることには東口の市民も良いと思っているので、向き合って議論し、調整する必要がある。

③交通事業者ヒアリングの実施結果について

※意見なし

協議内容 3 守山駅東口周辺の現況および課題の整理について

【主な意見】

○先ほどのヒアリングでも現状タクシー、バスの車両が少ないという意見が出ていたが、全国的にも深刻なドライバー不足の課題を取り上げられている。この半年、32名から38名まで、2割増やすことができたが、10月頃から想定していた需要よりも落ちている状況であり、昼間に関してはタクシーが余り気味でドライバーが余っている状況である。夜に関しては日による波が激しく、こちらでも需要が読めず困っている状態である。16日からシフトを変更してこれからの忘年会シーズンの需要に対応していこうと思っている。半年でこのように状況が変わるという中で、ヒアリングされた時との状況に変化が生じている。

○課題1の「東口は西口に比べて駅利用者が少ないため、賑わいや活気が少ない」という部分で、「駅利用者が少ないため」というのは違う気がする。目的地になるような滞留スペースやカフェのようなものがないということかと思う。ただ通過点として人が行き来しているだけで賑わいは出るものではないので、表現等見直していただければと思う。

○1ページ目の線路を跨ぐ東西の通行量について、特に朝の通行量については4番よりも、勝部一号線の踏切がすごく混雑しているので、今後参考にするのであればこちらも見てほしいと思う。踏切を渡る小学生の行列など、通行量が増えている。7時～9時は車両通行禁止になっているが、通行する車も多く、警察が取り締まりを実施している。歩行者だけでも3番(駅東口)から南の方に行けるようになると東口の利用者は増えると思うが、現状は西口のセブンイレブンから改札を出て、細い道を通り踏切を渡っている。

○歩行者の通行量について、4時間単位で集計するとどれくらいのボリュームかが分かりにくいいため、1時間単位で平均していただくと分かりやすい。

協議内容 4 守山駅東口再整備における目指すべき将来像および基本方針について

【主な意見】

○この資料では、守山市の都市政策的な視点、上位計画や既存計画からの落とし込みがどうなっているのかが見えてこない。

○政府が子育て政策について重点的に舵を切って進めようとしている。国土交通省でも都市づくりの政策として、来年度の概算予算要望でも子育てを中心にしたまちづくりについての政策を打とう

としているので、将来を考えると、そういったキーワードを考えた方が良い。

○西口の線路沿いの歩道（通学路）の混雑改善や駐車場の整備、地下道の改修など、費用面も含めてできることとできないことがあると思うので、できる整備とどうしてもできない整備を合わせて考えながら、次回の将来像と取組方針に落とし込んでいただければと思う。また、将来の 10 年 20 年先を見据えた推測も行い、基本方針を議論してまとめていただけたらと思う。

○基本方針 2 と 3 は必ずやらなければならないこと（改善すべきこと）だと思う。基本方針 1 は最低限やらなければいけないということよりは、もっと面白い守山にするためにアイデアを出すところだと思う。たたき台としてはこれで良いと思うが、考え方として 3 つが並行ではなく、次元が違うことを議論しているかなと思う。それを理解した上で、戦略を整理してほしい。

○西口を含めて全体としてどうしていくかという戦略も、東口を考えるうえで連動する部分もあり、役割分担を明確にしていかないと広場等のデザインの部分までつながらないと思うので、意識して整理していただきたいと思う。

○中学生とワークショップをした際に、学校から守山駅前には寄らずにすぐに帰るように言われていることを聞いた。要するに、安全安心な場所ではなく、子どものための駅前広場になっていないのだと思う。駅前で子供が過ごせる場所をどうつくるのか東口と西口を両方考えてどういう場所をつくるのかを議論していった方が良いかと思う。

○基本方針 2 と 3 は最低限満たすべき機能があるという前提で、基本方針 1 をどこまでつくっていくのかというところかと思う。「落ち着き」、「ゆとり」かつそれに調和した「賑わい」というのは一つの方向性なのかと認識したところである。それに加えて、「子育て」、「多様な世代が集える」といったところがキーワードなのかと思う。